

仙台市青葉区上杉一丁目5-12 上杉分庁舎 10階 〒980-0011 Tel:022-214-8893 仙台市文化財課 検索

発掘調査~春夏秋冬~

ばらばらの土器から分かること - 今市東遺跡 (宮城野区) -



欠損が少ない蓋

文化財課では日々多くの遺跡で発掘調査をしています。今回は今市東遺跡という昨年新しく見付かった遺跡の調査成果についてお知らせします。

利府街道こと県道8号線沿いの宮城野区岩切字今市東で行われた今回の調査では、 たくさんの弥生土器が見付かりました。

土器は多くの場合、破片の状態で見付かります。この様々な破片をつなげて文様

や形が見えてくると、土器を作った時期や場所、どのような生活をしていたかなどを知る手がかりになります。

今市東遺跡で見付かった土器が、 どんな使われ方をしていたのかなど は、今後の整理作業や分析によって 明らかになっていきますので、続報 をお楽しみに。



たくさんの土器の破片が見付かった様子

文化財=魅力は無限大!!

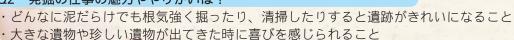


文化財課では、郷土の歴史を保存・継承すべく市内各地の遺跡で日々発掘作業を行っています。仙台の歴史の謎を解き明かすために文化財課の職員と作業員が協力して業務にあたっています。今回は7~10月に行われた郡山遺跡の発掘に携わった作業員の皆さんに文化財への思いを語ってもらいました。

Q1 発掘作業の仕事を始めたきっかけは?

- ・母が行っていて興味を持ったから
- ・年齢関係なく続けられそうだったから
- ・歴史の知識を増やしたかったから
- ・家の隣で発掘があり、興味を持ったから

Q2 発掘の仕事の魅力ややりがいは?



・仙台城の石垣の解体調査など、この仕事だからこそ経験できることがあること

Q3 仙台市民の皆さんに伝えたい!文化財の魅力やおもしろさとは?

- ・大昔のものに直接触れるのが楽しい ・太古の時間や人々の姿を想像することができる
- ・出土した土器を修復し、形にするまでの過程が楽しい

文化財課では、市民の皆様に文化財に親しんでいただくために、市民センター等での出 前講座を実施しています。皆様のご依頼・ご参加をお待ちしております。





【発掘調査のススメ】第2弾…未来へ残そう仙台の文化財

第2弾では、掘って見付けた文化財をどのように整理し、未来へ残していくのかについて取り上げます。 随所に見られるプロの技、そして集中力。作業員さんの仕事に対する思いや、それを間近で見学、実際に体 験した八軒中学校生徒さんの声をご紹介します。



整理作業って何ですか?

掘って見付けた土器などの破片を洗ったり、 くっつけたりして、未来に長く残していく ための大切な仕事です。





慎重に作業して・・・



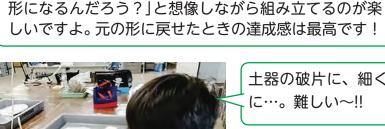
土器の接合で気を付け ていることを教えてく ださい。

※接合…くっつけること

大切なお宝を傷つけないようにすることです。「どんな



完成!これぞプロの技!!



土器の破片に、細く、丁寧 に…。難しい~!!



ネーミング作業の体験

【ネーミング】

発掘調査を行った年や、遺 跡名など、遺物に関する情 報を破片に書き込む作業。



文化財専門職員による講義

収蔵庫への運搬作業

遺物カードをしっかり確認 して、決められた場所へ。 収蔵庫には遺物が大量にあ ってびっくり!

文化財課では、遺物の貸出 も行っています。授業等で 使用したい場合、ご連絡く ださい。



接合する土器の選別作業



次回は、文化財の良さ・魅力を伝えるための広報活動について紹介します。お楽しみに

子どもたちが「ホンモノ」に触れる機会~出前授業をご活用ください~

出前授業では、本物の文化財に触れることを大事にしながらも、ICTも積極的に活用することで、学び を広げ、深めるための取組を進めています。



実際に土器に触れて、 感じたことをワークシ ートに記入します。

発掘現場と教室をTV 中継し、実際の発掘作 業の様子を見学してい ます。



子どもたちが情報端末 を活用して、授業後に 職員に直接質問をする ことも可能です。



~今年度の出前授業実績を

「縄文土器と弥生土器」 「地域の歴史」

(向陽台、南吉成、古城など) 「郡山遺跡について」 「伊達政宗について」 「遠見塚古墳について」 「すずめ踊りについて」 「仙台市の祭りと民俗芸能」

「土器づくり」 「仙台城ガイド」

「若林城フィールドワーク」

☆社会科の学習だけではなく、総合的な学 習の時間でも活用可能です☆



~子どもたちの声~

- ・「縄文土器や石器に触り、使い方についてみんなで考えるのが楽しかったです。縄の跡を見付けたり、 石器のツルツルした表面を感じたり、多くの発見がありました。」 (小学6年/縄文時代と弥生時代)
- 「授業ですずめ踊りのことを教えてもらったので、運動会ではすずめ踊りの伝統を受け継ぐ気持ちで踊 りました。おかげで上手く踊ることができました。」 (小学4年/すずめ踊り)
- ·「クイズやテレビ中継が楽しかったです。いろんな遺跡がわかって文化財のことが知りたくなりました。」 (小学3年/仙台の遺跡)

市民の皆様の「知りたい」に応えます!! ~出前講座~

文化財課では、仙台市内の文化財について、テーマに合わせた講座を 行っております。お気軽にお問い合わせください。

~今年度の出前講座実績~

[多賀城以前の陸奥国府~郡山遺跡]、「地域の伝統を伝える] 「調査からわかる政宗の城 ― 仙台城」、「遺跡等から学ぶ災害の歴史」等



~参加者の声~

- ・「身近なところに遺跡があることを知り、長年の発掘調査の成果など大変勉強になりました。」
- ·「子供のころから住んでいるところの歴史について、とても興味深く説明を聞きました。地域の歴史に ついてもっと知りたいと思いました。」
- 「土の中からでてきたホンモノの遺物に触れることができて、貴重な体験になりました。」

今年も好評! 第76回文化財展

令和4年6月14日~8月21日まで、東北電力グリーンプラザにおいて第76回文化財展「文化財この一年」を開催しました。今回の文化財展では、令和3年度に初めての発掘調査が行われ、半地下式の窯跡や「灰原」と呼ばれる燃えかすや瓦が多数見付かった穴田東窯跡や、縄文土器や土製品が多量に出土した大野田遺跡など、令和3年度の発掘調査の成果を中心に、パネルや出土品を展示して紹介しました。また、新たに有形文化財として



登録された東北大学と東北学院大学の建物群についても展示を行い、多くの皆さんにご覧いただきました。 また、展示会に先立ち、<mark>仙台・文化財サポーター会</mark>会員向けに展示解説会を行いました。

仙台・文化財サポーター会とは…

仙台市の歴史と文化遺産に関心を持っている方なら誰でも入会でき、様々な活動を通して仙台の歴史的文 化遺産の保護・継承・活用を図っています。

サポーター会入会直後、東日本大震災で被災した石巻文化センターの収蔵品のレスキュー活動に、会を 挙げて参加しました。この時の活動の熱気が、文化財サポーター会の結束の源と思っています。

文化財とは「人間(あるいは自然)の営みの痕跡で価値のあるもの」です。私は「人間のいとなみの痕跡で面白くないものは、無い」と思っています。「人間」に興味のある方、ぜひ文化財サポーター会にご参加ください。 会長 佐藤賢一 ※問い合わせ先 022-214-8893(文化財課整備活用係)



そうだ! 民俗芸能を観に好こう

仙台市教育委員会では、市内で受け継がれてきた民俗芸能を広く知っていただく機会として、 毎年1回、「民俗芸能のつどい」を開催しています。民俗芸能は暮らしの中で生まれ、育まれてきた、その土地ならではの伝統芸能です。ぜひ会場で、その魅力を体感してみませんか。

●日時:令和5(2023)年2月11日(土・祝)

●会場:日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

●出演:仙台市内の神楽、鹿踊、田植踊など4団体

※詳細は「仙台市政だより」令和5年2月号

のほか、文化財課のホームページにてお

知らせいたします。

~参加者の声~

- ・(小学校)3年生で文化財の勉強があるので今日これてよかったです。
- ・仙台に住んで50数年、泉に住んで45年以上おりますが、身近なところに民俗芸能が伝えられていたことを全く知りませんでした。ありがとうございました。
- ・仙台市内や秋保の神楽を初めて見て目がくぎ付けになりました。踊りも感激しましたが笛や太鼓の音色がとても心地よかったです。今度は、お祭りの時に足を運びたいと思います。

【お知らせ】

• 10月8日(土)に開催した『第12回 全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺』の動画をYoutubeで配信しております。国分寺建立に込められた天災や疫病鎮静への願いなど、現代まで続く様々な思いを全国に向けて発信しました。東北大学の堀裕先生のご講演をはじめ、参加市長様方によるパネルディスカッション、聖和学園生徒のみなさんによる『献灯の舞』など、見どころ満載となっております。年内中は配信しておりますので、右記二次元コードよりどうぞお気軽にご覧ください。



・新型コロナウイルスの流行状況により、当課の事業、イベント等につきましては中止や延期となる 可能性があります。最新の情報は当課ホームページやお電話等でご確認ください。(表紙上部記載)

